

ライスアイランド

RI weekly レポート

～ シリアル・ルネッサンス～

123

〒500-8322

岐阜市香取町3-38

電話 058(253)0310

FAX 058(252)5115

2006年 1月 21日

vol.146 担当：田崎

<http://www.riceisland.co.jp>

今年の天候と農産物！！

農sは日本の農業現場の現状も発信していきます。

農産物加工品を育てる考えで、生産者ブランドづくりをすすめます。

全国的に雪が降った12月22日、降らなかったのは東京とその近隣。特に日本海側では未だに豪雪に頭を抱えている人が多く、この雪の影響で野菜の価格が高騰し、市場ではレタスが1玉500円に値がつかしました。

【産地レポート】

北陸地区の高岡市のJA職員談：通常より早く雪が積もった。白菜、キャベツが雪の下に！！。通常は雪が降る前に土作りをするのだが、土作りができなかった。春以降の収穫量にも影響するのでは？と懸念している。

千葉県のファーマーズマーケット「グリープ」代表談：気温が低く農産物が育たず、品質がいいものが集まらない。品質に自信が無いものは売れない。この野菜価格は春まで響くだろう…。関東の野菜が、雪の地域の野菜が不足しているところに引っ張られているとのこと。雪が降らなくても、野菜が不足している。

群馬県ファーマーズマーケット「吉井のふれあい市」店長談：近隣のスーパーでは野菜が高いので、お客様は同所へ買いにくる。正午過ぎになると品切になる。売上はあがるが、農業の現場では、野菜の相場が上がっても、儲かるかというところでもないと言っていた。

RIアンテナショップ・有楽町農sギャラリーでは、毎週土曜日に、産直市場農sを展開。全国のファーマーズマーケット、JAなどの農産物、農産加工品の産直市場を行っています。

産直市場農sでも、野菜の価格が高く、例えば、キャベツの価格が400円であれば、「特にキャベツを食べなくてもいい」という声も聞きました。

野菜が高ければ、買い控えるだけ。食べる人は、白菜、キャベツが無くて、無いなりに料理を作るだけ！とも・・・。

- ・作る人と売る人、買う人と食べる人の微妙な温度差の要求に応えるために、農業の状況も捉えられることでより使える提案を目指します。
- ・商品を育てる考え方の買い手側と、技術の高い生産者が結びつくことで、生産者ブランドができます。
- ・はぐく商品加工技術を支援していきます。生産者ブランドの農産加工商品は生産者と育て、流通させる事で、食べる人から支持を集めてブランドになります。
- ・全国の生産者は、農産加工品の買い手側を求めています。
- ・まずは食べる人に、さらには流通の方々にも理解されること、皆様のご意見を生産現場に反映する事で、食べる人にも喜んでいただける農sを目指します。